

第7回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第4回）

- 1 開催日時 令和5年7月15日（土） 午前10時30分～12時00分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民17名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	町会・自治会について	<p>ここ数年間、コロナの中で、町会加入率は2割下がったと思っています。高齢者が抜けていくのはしょうがないですけど、若い世帯が全く入ってきていません。このままではまずいということで、今年度はコロナ前の活動をとにかく復活させよう、あるいは親睦のイベントをたくさんやろうということで色々考えていました。</p> <p>その一つがお祭りで、9月ぐらいに20年間ぐらい保健センターの駐車場を借りて実施してきたんですけど、今年は秋口のコロナの予防接種の会場になるかもしれないということで使用を断られました。一方で、11月に開催する防災訓練なんですけど、これも同時期に申し込んだところ、ここは担当者がその場でコロナの接種会場になる可能性があるかどうかを確認してくれて許可が出たということで、対応がまちまちになっています。例えばその内部基準でこういときには貸してあげられる、この場合は駄目なんだというようなものがあるのであれば、お示しいただいた方が良かったと思います。その辺のところを整理いただきたい。</p> <p>新たな取組として、餅つき大会をやろうとしています。従前、公民館などで餅つきの道具を貸していただいていたという話なので、4つの公民館にお電話をして、貸してくれないかということでお願いしたんですが、数年間使っていないので衛生面の関係からお貸しすることはできませんと断られてしまいました。備品等については修繕したりして、これまでの市民サービスというものの復活・維持を考えていただけるといいなと思うんですが、その辺のところはどうなのかという感じがしています。</p> <p>市民が一番近い行政機関なので、ぜひとも地域のコミュニティーあるいは地域のボランティア活動に寄り添った運営をしていただけたらと思います。</p> <p>7月3日に町会・自治会の連絡会というのをやっていただいて、会長さんからは色々意見が出たと思うんですけど、それだけではなくて、今、共通の課題を抱えている人たちが連絡をするような、例えばメーリングリストだとか、グループチャットだとか、こういったものをできれば市が主導をして整備していただけたら大変ありがたいです。一つの町会の役員だけでは全く分からないようなことも、多くの町会の関係者が集まったら、より良い変化にできるんじゃないかと思っています。</p> <p>7月27日に、またその町会長が集まるような会議があるとお伺いしているので、その場でうちの会長から提案をさせていただいて、皆さんが乗っていただけるのであれば希望するところだけでもやりたい、前進したいなと思っています。</p>	<p>保健センターの駐車場を9月は使えないという話ですが、秋接種が9月から始まるということになっておりまして、そのこの集団接種会場として、保健センターを使うという話になっております。若干そこが曖昧だったということですが、実は国からまだ具体的な計画が下りてきてないという現状がありまして、若干曖昧な回答になってしまったところがあるんだろうなと思います。ここについては説明不足だったと思いますので、申し訳ございません。</p> <p>逆に11月からは、保健センターは集団接種会場として使わなくていいだろうという見立てを、市としても持っているという話になると思いますので、もう少ししっかり説明すべきだったと反省をしております。</p> <p>餅つきの道具については私もよく分かりませんので、担当課に確認をします。こういった御意見があったところで、分かりました。</p> <p>情報共有をする何かツールがあればという話ですね。御意見としてまず受け止めさせていただきます。やるとすれば、別にお金をかけずにできる方法はあるとは思いますが、町会・自治会の代表となっている方々が、どちらかというとなんかそういうのが苦手な方が少し多いという背景もあつたりしますので、御意見として受け止めさせていただきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	言葉の使い方について	<p>陳情書にも出したんですが、市議会だとか、こういうミーティングのときでも答える側として「検討中でございます」とか、「考える」、「考えているところでございます」って、日本語に訳すと、「何にもやっていません」ということだと思います。「どういうふうに考えたか」など、そういう答弁に変えたらどうなんですか。</p>	<p>言葉の使い方については、具体的な言葉を使ったほうがいいんじゃないかというお話だと思いますので、御意見として受け止めさせていただきます。</p>
3	学校の表札について	<p>小金井市立の学校の表札ですが、これ全部、漢和辞典に出ている字に書き直したらどうなんですか。</p>	<p>誤字についてのご意見ですが、こちらでも調べてみたいと思います。</p>
4	納税者世代・子育て世代への支援について	<p>税というものは基本的に行政サービスと富の再配分だと思っております。納税者世代に全てが返ってくると思っておりますが、ちょっと小金井市については納税者世代の施策が他と比べて劣っているのではないかなと思う部分がございます。その中で2点挙げさせていただきます。</p> <p>1点目が自転車関連です。11年ぐらい前に東町に住んでいました。東小金井の駅前とかよく使っていたんですけど、今あの辺の駐輪場がどんどん減ってしまっていて、更にそれに便乗して値上げもされているのではないかなと思っております。自転車って環境に優しい乗り物かなと思っていて、それなのに悪者扱いになっているんじゃないか。駅に乗り入れてくれるなよと思っているのかという減らされ方をしている、ちょっと辛いかなと思っております。</p> <p>もう1点が、図書館です。近隣の武蔵野市には武蔵境駅のすぐ近くに武蔵野プレイスという、とても良い建物があります。時間も22時まで使えます。22時までやっていれば社会人でも簡単に利用できるのかなと思っておりますが、小金井市にちょっと目を向けてみると、本館は一部の日だけ20時、他は19時とか17時って、基本的に「社会人お断り」というような時間帯です。プレイスみたいな立派な建物が財政的に難しいということであれば、それは仕方ないと思っております。例えば武蔵小金井の駅前の、第一大久保ビルなどを借りて図書室みたいな感じで、ちょっと運営してみるとか、何か少し知恵を出せば駅前に何かつくれるんじゃないかなという気もしています。</p> <p>市長が先日、ツイッターか何かで、ふるさと納税の流出が結構厳しいというお話をされていたかなと思うんですけど、結局、小金井市に納税してもリターンが全然ないから、だったら他のところ納税して少しでもリターンを貰おうよということになっているのも、一つ、あるのではないかなと思っております。そこを施策として御検討いただければなと思っております。</p>	<p>御指摘のとおり、もともと東小金井駅の駅前にあった平場の大きな駐輪場がなくなって、非常に不便だというお声は実はいくさんいただいているところです。これは、かなり以前に計画した内容をやっぱり検証しないといけないところではあるんですけども、JRが高架化することによって、高架下に駐輪場を入れようということ、まずは東側に、ちょっと台数は少ないですけども、一つあります。ただ、西側の武蔵小金井市方面は、ちょっと駅から遠いので、そこに停めても駅まで歩いてしまうので、実は人気がないところではあるんですが、結構台数を確保しております。定期利用や一時利用も含めてまだ結構空いているんですね。台数だけ見ると、一応、駐輪場をどれだけ整備するかという必要数をしっかり割り出して計画を立てていて、その台数分、実は周辺は確保できている。確保はできているものの、要するに利便性を考えたときに不便な場所に多くあるよねという、こういう御感想をやっぱりいただいているところです。</p> <p>特に北口ですね。北口の方は、もともと駅にすごい近いところに沢山あったにもかかわらず、今、駅に近いところはほぼない状況。これについては議会から厳しい御指摘もいただいているので、何がどうできるのかということについて、検討しているところなんです。ただ、やっぱりもうある程度、今、面としてしっかり都市整備するという区画整理の事業について、ほぼ割当ても全部決まってしまう状況でして、ある程度良い所に良い形で駐輪場を整備するということが、ちょっと今の段階では難しいというのが現実です。</p> <p>ただ、場合によっては、あんまり具体的には言えませんが、できることを今話し合っ、その可能性を見いだせるかということを検討しているところです。大変申し訳ありません。</p> <p>図書館については仰るとおりと言いますか、なかなか使い勝手が良くない状況になっておりますので、今回、緑センターに図書室がありますが、民間委託をして開館時間を延ばすということを考えております。</p> <p>あと、第一大久保ビルというのは旧西友ビルですが、あそこを使ってというお話もありましたが、あそこは実は再開発の予定になっておりまして、恐らく数年以内には具体的な再開発の計画としてそこをどうするというのが見えてきて、もう少し後になってしまうんですけども、その中に図書館機能を入れたらどうかという御提案なんかも、実は議会からもいただいたりはしているので、それも一つの御意見としてまずは受け止めさせていただきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
5	市ホームページについて	<p>正直申し上げて、小金井市のウェブサイトって、役所が情報を出したということがメインになっていて、市民目線の内容に全然なっていないなと思っています。後で見えていただきたいんですけど、例えば、隣の三鷹市で「ごみの出し方」って検索してみるんです。そうすると、順繰りにたどっていくと、ちゃんとごみの出し方、この地域は何曜日の何というのが全部すぐ分かるんです。</p> <p>それが、小金井市だと何が起きるかという、こういう政策をやりますとか、これに注意してください。何かそういう羅列がぞろぞろと並んでいて、ごみの出し方は下の方に出てくる作りになっています。ぜひ市民目線に立ったウェブサイトの運用を心がけてほしいなと思っています。</p>	<p>ウェブサイトについては、これも御指摘のとおりで、ずっと耳が痛いなと思って聴いておったんですが、もう市民目線になってないといえますか、やっぱり市が情報発信するというだけのつくり方になってしまっていて、それを今、抜本的に変えようと思ったら、結局、CMSを含めて、色々やり直さないといけないんです。</p> <p>実は今、ウェブサイトのリニューアルということを考えておまして、今の契約が一応令和7年の途中までですので、あと2年ぐらいです。今からちょっと準備をして、どうウェブサイトとしてあるべきかということも含めて検討して、リニューアルしてこうという話を担当課長としているところで、具体的などころは言えないんですけども、そういう方針を持っておりますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。</p>
6	不登校支援について	<p>私は市内の小学校のコミュニティ・スクールで放課後英語を教えています。小学校と中学校、コロナ禍に入ってから、コロナ禍の影響なのかは分からないんですけど、最近不登校の子が増えていて、私の友達のお子さんもちょうと不登校になり始めているらしいのです。そのお母さんいわく、市で不登校に対処するようなものはハッキリしてなくて、お母さんたちが不登校のお母さんたちのコミュニティでどうしたら良いかというのを話し合っていて、もう市にはちょっと頼れないと話していたんです。</p> <p>もくせい教室も南側にあったんですが、学芸大学の方に移動してしまって。学校の何倍も遠いところに、とてもじゃないけど行けないということで、ほとんど行かなかったということなんです。その友達のお母さんの周りの不登校の子たちも、現状、やっぱり結局、おうちにいるという感じで。</p> <p>私は放課後、英語を教えていて懸念しているのは、この子たちがおうちでどれぐらい勉強しているかも分からないし、一回、学芸大の方に何か出来る出来ないかと問い合わせ、英語だけでしたら教えられますと言ったんですけども、勉強したくない子もいっぱいいるって言われたんです。私が懸念しているのは、この子たちが、じゃあ学校で行ってみようかなと思ったときに、授業についていけなくて、また更にくじけてしまって、第2の不登校に入ってしまうんじゃないかなと思って。その子たちがいつでも学校に戻れるように、学習だけは何とかしてあげたいなという思いがあって、自分でできる範囲で何とかしたいなと思っていますんですけど、やっぱり1人ではどうにもいかないのです。</p> <p>バーチャルに関しては研究フィールドということなのであんまり分からないですけども、この新しい校内別室指導事業というのが、今まで5校ということなんですけれども、これが広がって、授業に追いついていけるような学習を提供できる場所になってくれればなど、今日お話を伺って、ちょっと期待しています。</p>	<p>現状をお話しいただきまして、ありがとうございます。こういう現状のお話を一つ一つもらうことが、私としても政策を考えていく、もしくは、ここを強化しないといけないとか、やっていることが間違いなかったというの、やっぱり確認できますので、ありがたいです。</p> <p>若干補足いたしますと、確かにもくせい教室は学芸大学の方に移動しましたので、もともと市の真ん中にありましたが、ここの設備があまりにも酷かったというの、物理的に一番西の端に行ってしまったので、やはり行きづらさについては、ずっと課題です。</p> <p>ただ、来る子は増えたということ、通い続ける子も増えたということも、一応成果として上がっていることは事実ですので、来られる環境にいる子どもにとっては、良い場所なんだろうとは思いますが、ただ、おっしゃるように、私も東町に住んでいますから、例えば自分の子どもがもくせい教室に行くといったら、もう無理だろうと思うわけなんです。</p> <p>ですので教育長とは、その子どもに対する対応についてどうするかということ、常に色々話し合ったりするんですけど、やはり色々な選択肢をしっかりと持つということ、公でやってないことについても、しっかりと市が、例えば経済的負担を家庭がしているんだしたらそこを支援するとか、色々なやり方があるよねという話をしています。やはり学びの選択肢ということをいかに多く設けるかが、不登校の子もたちに対して、おっしゃっていただいたように、学校に戻ろうかなと思ったときにちゃんとその段階で戻れるという、それを担保することにも繋がるんじゃないか。場合によっては、学校にずっと行けなくても、学びをしっかりと別の方法で担保できていることによって、その後、例えば小学生が中学生、中学生が高校生になったときでも、その段階の必要な学びというのをちゃんと習得している状況をつくるということが、やはり大事だと認識しております。</p> <p>他の自治体で最近、フリースクールに通うお子さんに対する御家庭に対して経済的な支援をするという補助制度をつくっているところが、ちょっと増えてきました。</p> <p>ただ、どのフリースクールでも良いか等、いろいろ課題もございますので、例えばその自治体が認定したこの団体に通っているのであれば、一定額補助しますという、そういうスキームをつくったり、課題はありながらも、そういう学ぶ選択肢をしっかりと担保している自治体も増えてきています。</p> <p>さっき紹介させていただいた別室登校ですが、自治体として対応できているところもあったりもするんですが、やはり対応できないところもある。それは何かというと、場所と人員の問題だったりするんです。</p> <p>ですので、別室登校も一つの手段ですし、やっぱり色々な学びを選択できる、選択肢が沢山あることによって、しっかりとどういう手段であっても学べる環境を、もっと力を入れて進めていかないといけないと思っておりますので、一步一步という形にはなると思いますが、教育長もそこは専門家ではありませんので、保護者の皆さんの声も聴きながらしっかりと構築していけるように努めていきたいと思っております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	難民支援について	<p>私はずっと小金井で色々な運動をしていたんですけども、このところ難民の問題がものすごくクローズアップされているので、難民の問題をやりたいと思ひまして、役所に行きました。当然、難民の係があると思ひたんですが、ないんです。現実に小金井に難民の人がいて、その人たちが子ども食堂に来ていたのですが、小金井は補助金が何も出ない、住宅もないと。他のところはみんなあつて、清瀬なんかはもう優先して住宅、生活費も補助して、ウクライナばかりでもないんです。ウクライナだけは国政がものすごく手厚くするんですけども、他の人はないわけです。私はその時、保育園問題で頭がいっぱいだから、難民まで手が回らないんだろうと思ひました。でも保育園問題も問題だし、難民の問題も問題。小金井に文化がないような気がします。やっぱりそういうことを率先してやってみてほしいと思ひます。</p> <p>8月11日に小ホールで難民のイベントをやるんですけども、その時でも役所に行くと、正規職員か、そうじゃないかで全然対応が違う。聞きたいのは、小金井は正規職員とそうじゃない職員が入り混じっているということと、職員を教育する機関がないんじゃないかということ。難民のことを言っても何にも分からないけど、そういう社会的な問題を把握してほしいと思ひますよね。小金井に行った難民の人は、三鷹に引っ越しましたが、三鷹は生活費も補助してくれると。そのようでは今のこの時代、小金井は置いていかれると思ひます。</p>	<p>実は御指摘いただいているように、難民と言うか外国ルーツの市民を支援する、そういう担当が今そもそもないということは、実は3月の議会でも御指摘をいただいて、改めて私も昨年11月に市長に就任してそういう御指摘もいただいて、振り返ってみると、組織としてそういう体制がつくれていないという話です。</p> <p>それをどうするかということは、今ちょっと組織編成も含めて考えているんですけども、今すぐそれをやるとかできるという感じではありませんが、近い将来に向けてそういう体制をしっかりとつくりたいということなんです。あと、近隣の自治体では、そういう外国人を支援する団体というのがしっかりとあつて、市としても何かしら、関わりを持っているということなんです、小金井市はそれがないということなんです。それもよく分かりましたので、それについてもどういうふうにできるかということも、今ちょっと考えているところです。今、現状できていないということは、大変申し訳ありません。ただ、その問題提起をいただいて、今、市としてどういうふうにやろうかということをお話し合っているところでございますので、もうしばらくお待ちいただければと思ひます。</p> <p>また、職員の教育については、御意見として受け止めさせていただきます。</p>
8	議場の市民利用について	<p>私たちが会議をするときに場所がないんです。福祉会館がなくなって市庁舎がなくなって、本当に住民は困っているんです。そういうことを考えたときに、渡辺議員が言った、議会は4か月しか使っていないわけで、それを開放してほしいということ。議会の部屋はがらがら空いているわけなんです。それが、議会で否決されたのをニュースで見まして、とても残念なんです。また、場所を取るでも何でも、みんなインターネットでやるわけなんです。そうすると、年寄りなんかはできない人が多いと思ひます。今までのように行って申し込むという方法をやっぱりやってみてほしいと思ひます。</p>	<p>市議会の議場を開放してほしいという話ですが、これについては御意見、ごもっともだと思います。かつて市議会の方でも私も市議会議員でしたのでそこにいましたから。でも、新庁舎を建てるに当たって議場を開放しようかという話が庁舎の基本計画に書かれておりますが、その通りやろうかという話をしたときに、反対意見が出たんです。市議会の施設をどう使うかということは議会マターですので、議会の中で話し合つて決めると。それがあつた意味、全会一致じゃないとそれがまとまらないということで、議場を開放して市民に使つていただくということについて、どちらかという反対されている議員の方々がいらっしゃいますので、その方々にちょっとお話をさせていただいたほうがいいかなと思ひます。</p> <p>大変申し訳ないですけど、議場をどう使うかということについては市長部局ではなく、議会の施設ですので、今日こういう御意見をいただいたというのは伝えさせていただきますが、もしよろしければまた別で直接、議会の方に、この御意見をお伝えいただければいいかなと思ひます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	市政の方向性と要望について	<p>先ほど市長が政策を考えるヒントになると仰いましたので、普段市に対してこういうことがあれば良いなと思っているお話を2点させていたいただきたいと思います。</p> <p>1つは市報等で拝見して、市長が小金井市を全体としてどのような市にしていきたいか、財政をどう確保し、それをどう配分して使っていくかということ、ちょっとよく分からなくて方向性が見えないのですが、私はこうしていただきたいと思っています。</p> <p>小金井市というところは、まちとしては、大変人気があります。なぜかといえば中央線が走っていて、そこが始発駅だからです。文教的にも大変すばらしく、公園等の環境もすばらしい。選ばれるまちではありますが、残念ながら皆さん小金井市に大した愛着を持っていないと思います。単なる寝るところです。そうでなくするための方策として、単に寝に帰っている人が、ちゃんと自分たちにも、例えば駅前にそうした公民館があるとか、いわゆるワーキングスペースで低廉で使えるところがあるとなれば、もうちょっと市への愛着を持ってくださる。ふるさと納税で他に負がなくて、小金井市に払ってくれるかなと。</p> <p>もう一つは、例えば流山市のように、共働き子育て世帯を強力に誘致して、住んでいただくような方策をとる。なぜかといえば、彼らは非常に収入がありまして、かつ市税をいっぱい払ってくれるからです。例えば駅前に流山市と同じような保育園送迎ステーションをつくるのか、何かそういう優遇政策をとるとか、希望者は絶対保育園に入れますという政策をつくるのか、何かそういう特色というものがあるというのとは、全体に非常に活気があり、みんなの生活が明るくなります。例えば子どもと関わるのは楽しいことですので、今のシルバー人材センターの方で、例えば保育園に送迎しますとか、勉強を教えますとか、そういうような仕組みをつくっていただければ、市全体の活性化や幸せ度のアップにもつながるのではないかなと思っています。</p> <p>また、私は発達支援センターや児童館や学校というところに、ボードゲームのクラブをぜひつくっていただきたいと思っています。それはなぜかという、私は子どもに関わる仕事をしていて、今、発達障害と言われる子が増えていて、その子たちは学校の中でなかなか楽しい時間を送れず、そのために不登校になったり、さらにもっと何かの問題行動を起こしたりということが起きていて、子どももつらい、家族の方もつらい、率直に言えば周りも迷惑、という感じなんです。楽しく過ごせる時間というものがあれば、そういうことは非常に起きにくくなります。私、自分がゲームが好きでやっていますが、ゲーム界には発達障害を結構お持ちの方がたくさんいらっしゃるんです。というのは、その方たちがとても楽しく過ごせる要素がボードゲームというものにはあるからです。</p> <p>そうやって、学校でそういう子どもたちが楽しく過ごせるような場を、クラブとして運営する分には、ゲーム代の何千円かを出していただければ低廉で運営できますので、ちょっと御検討いただければと思います。</p> <p>私も小金井市でそういうゲームの会もちょっとやらせていただいているので、もし児童館等でやらせていただけるようなら御協力したいと思います。</p>	<p>全体として何をしたいのかということで、私自身の経験をひとつお話するのですが、もともと私自身がサラリーマンだったということで、地域に全く興味がなかった人間で、政治にも興味がなかったというのが約13年前なんですけども、そこからいろいろあって市議会議員になって、今、市長となっています。一つイメージしているのは、寝に帰るだけのまちだったものが、結局自分のまちになるということが大事だなと思っています。当時会社員だったときには会社の近くで飲んでから帰ってくるということだったんですが、結局、地域に人脈ができると、帰ってきながら飲むということになって、飲むというのは一つの分かりやすい表現ですけど、要するに地域にお金を落とすようになったということなんです。今でも通勤で都内に出て行く人は沢山いらっしゃるんですけど、そういう方々が地域に地縁を持つことによって、地域にお金を落とすきっかけにもなる。これは地域経済を活性化することに必ず繋がります。</p> <p>私自身、例えば年間で、都心で10万円ほど落としていたものが、この小金井市に10万円を落とすようになったというのが会社員時代からの変わりようだったので、それが100人いれば地域に落ちるお金は1,000万円になるし、1,000人いれば1億円にもなるという話だと思います。</p> <p>これは分かりやすい現金的な話なんですけど、そうなることによって、結局、地域でまた地縁が増えていくわけなんです。さっき町会・自治会の話であつたりだとか、サラリーマン世代のお話、世帯に対する市民サービスという話もありました。ですから、いかに今以上に地域に目を向けて、興味を持っていただいて、地域で過ごす時間を増やすか。ここがやっぱり課題だと思っています。</p> <p>将来的に私自身が目指しているのは、「みんなでつくるまち」というふう言葉として掲げているんですけども、いわゆる市民参加、市民協働ということが実態として起こっていくような、一人一人の実態として起こっていくような、そういうまちにしていきたいと思っています。</p> <p>そうすることによって、結果的には地縁、コミュニティーも、色々なレイヤーでできるということ。だから、本来は町会・自治会をどう再生していくかとか、そういう話にはそこで取り組まないといけないんですけども、結局、それにどうしても引っかからない方がいらっしゃるので、別のレイヤーでコミュニティーをつくっていくということをやらざるを得ない。です。で、地域全体でいろいろなレイヤーで重なって、網目の穴がないようにしていくということが大事だと思っています。</p> <p>ビジョンとしては、子育てもそうなんですけど、やっぱり教育のところは小金井市のポテンシャルとしてまだまだ高いと思っています。教育というのは単に学力というだけではなくて、生きる力をつけるということなんです。だからそれを、子どもの個性に応じた教育の仕組みであつたり、地域で支える仕組みであつたりという意味での教育なんですけど、例えばおっしゃるようなボードゲームというのもひとつ、そのコンテンツといえます。重要な要素にもしかしたらなるかもしれませんし、そういう可能性というのは色々考えていきたいです。</p> <p>というのも、小金井市は教育機関が非常に多いですね。とても狭い市域面積にもかかわらず、大学、専門学校、あと私立の中学校、高校があります。あと、市域ではないけど隣接している大学も結構あるんですね。だから、それで考えると、教育機関だけでも、もう数限りなく地域資源として、もっと連携を深めて活用できる要素であると思っていますので、実は先日、学芸大学さんに訪問して大学長にも会ってきました。今後、法政大学さんにもちょっとアプローチをしていこうと思っています。具体的にこれをしようという話ではないんですけど、もっと地域の教育機関と連携を深め、教育を色々な視点で支えていくようなまちにしていきたいことが、逆にまちのブランドを更に上げていく、自治体として魅力的なまちにしていきたいことに繋がるとも思っています。</p> <p>あと、冒頭に愛着を持っていいという言葉もありましたけども、やっぱりそこなんです。結局、まちに興味を持つためにも、いわゆるシティブランドと言われる、シビックプライドとも言われますけれども、愛着を持っていくための市としてのコミュニケーションの在り方も重要だなと思っていますので、さっき御指摘いただいたウェブサイトが一方通行になっているという話も、しっかりと双方向にやるということも含めて、色々考えていきたいと思っています。</p> <p>流山の話は本当に、全国の自治体が羨む一つのモデルをつくりましたので、それと全く同じかどうかというのはあるんですけども、しっかりターゲットを打ち出して、将来のまちをつくるために、どの世代に対してどういうアプローチをしていくかということ自体は考えていきたいと思っています。</p> <p>明確な答えになってないかもしれないですけど、そんなことを考えております。これをもう少し分かりやすい言葉で伝えていけるように工夫したいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
10	市立小中学校のトイレについて	<p>小金井市の教育環境というところというところ、軒並み校舎が古くてトイレが酷いです。子どもたちがトイレを我慢して駆け込むという状況が続いています。</p> <p>保育園の廃園の理由も、財政的に難しいというところがあります。まず、通常積立金とかをしてやっていかなきゃいけないような問題だったのが、これまで50年という中で軒並みできていないということです。財政的に、お金がないからできませんというのではなくて、やはりその辺はちょっとしっかり検証していくことと、今後どういうふうにしたらいいか、というところがあると思います。</p> <p>トイレについては、例えば2回掃除したとしても、配管が古いので、あんまり効果が実はないというのも現状で、お金がちょっと必要かなど。財政が改善されれば、それで改善されるのかということの検証もしていかないといいかなくとも。</p> <p>例えば新宿区なんかだと、例えば学校のプールとかを市民に開放して、その分の収益を学校の活動に回しているそうで、そういう構造的に何かを変えないと、ちょっと難しいんじゃないかなというアイデアもあります。施設を建て直して、また50年後に同じことが起きます、というようにならないような構造をつくる必要があると思います。</p> <p>トイレの問題として、掃除をプロに頼むということも必要だと思っっているんですが、同時にトイレに対して子どもたちが主体的にならないんです。掃除で学校の先生すら、それはもう私関係ありませんからという状況なんです。トイレ掃除も、完全にぼっちやろうという必要はないかもしれないですけど、議論する必要はあると思う。こうなってしまう状況をみんなで考えるというのを、子どもたちとか先生たちとかも含めてやる必要があるんじゃないかと思っています。</p>	<p>いくつか、問題提起をいただいております。まず、教育施設について、設備的な環境がよろしくない状況については、本当に大変申し訳ないといしか言いようがないです。この間、十分な教育施設を整備するだけの積立金みたいなものはなかったです。それは実は教育施設、学校だけではなく、あらゆる公共施設について、それをメンテナンスしていくとか、場合によってはリプレースしていくとか、そういうことをやるための基金というのは存在しなかったということなんです。</p> <p>公共施設マネジメント基金というのは、実は昨年できました。これは、実は私と別の議員で、もう議員提案してつくるかという話までなっていたものを、ようやく市が、それだったらつくりましますという感じでつくったところなんです。まだ積立金額というのは、もう本当にスズメの涙でございます。</p> <p>やはり10年前まで遡ると、庁舎の建設の計画はあったけども、結局まだ建ってないというのは、建てるだけのお金が無かったということ。基本計画は立てても、建てるだけのお金と環境はなかったということと、もう遡ると平成9年ですけども、退職金が払えなくて東京都に退職債を発行したという、全国的にも恥ずかしい経過というのがあって、そこからようやく人件費を減らしてきた。これは前々市長の稲葉さんという方の功績ではあると思っっているんですけども、ようやく人件費も落ち着いて、ようやくできる状況にはなったということです。</p> <p>ですので、今、それなりの基金というのは積むということができるようにはなっていますが、これまでの経過の中ではなかなか、施設を改修したり建て替えたり、というために積むということができてなかったというのが現状ですので、近年ようやくそういうことをスタートしたという形にはなりません。</p> <p>ですので、それは当然私も市議会議員のときには指摘したところですし、今は逆に議会からもそれを言われていることですので、公共施設をどうやっていくかということについてのお金を、しっかりと計画的に積み立てていく必要があるということは、今、小金井市の中ではそういう方向性にはなっておりますが、これまでの経過ではできていませんでしたので、ちょっと地道にやらざるを得ないところなんです。</p> <p>あと学校施設については、一応順次、長寿命化、もしくは建て替えということを1校1校進めていく現状になっています。直近では、第一小学校を最優先にやります。今の計画では、次は第三小学校になるということと、建物の老朽化具合をしっかりと調査して優先順位をつけて。あとは今、全ての学年が3人学級になりましたから、教室が足りないという状況があったりとかします。そういうことも踏まえて、どこをどう順番にやっていくかということになるんです。</p> <p>だからトイレの話でいきますと、御指摘のとおり、配管が古くて、もうそこから臭気があるということが言われていますので、その対策をどうするかというのを考えないといけないという話はしているところでございますが、今のところ具体的なことを決めるところまで行っておりませんので、そこは引き続き課題とさせていただきます。</p> <p>ただ、学校については、第一小学校はもう急いで建て替えないと、もう学級増に間に合わないという話です。第一小学校以降も、長寿命化といっても形だけ残しても建て替えみたいなものですから同じなんですけど、学校の在り方というものを、ある程度しっかりと方針を固めないといけないという話をしています。というのは、学校施設としてしっかりと、設備として整えるというのは当たり前なんですけども、あわせて、例えば放課後、地域の方に使っていただくとか、それこそ学童の施設をどう併設するかとか、地域の学校という色合いをしっかりと、考え方を含めて、生涯教育にも活用できる学校設備という、ある程度の方針を市としては考えながら、今後建て替えに進めていかないといいかなくとも。こういう話をしておりますので、今の公共施設全てをそのままその場所でリプレース、建て替える、とかではなくて、やっぱり地域全体として学校施設を核にししながら、そういう公共的な機能というのを入れて、場合によっては色々な、ちょっと減らす部分ももしかしたらあるかもしれませんが、機能がしっかりとその地域で担保できるように、そしてそれがまた更新しやすいうこと。こういうことを考えていかないといいかなくともと思っっておりますので、ちょっと現段階でお答えできるところはそこまででございますが、いただいた御意見、確かに受け止めさせていただきたいと思っます。</p>
11	都市計画道路について	<p>3・4・1号線の都市計画道路の状況を聞いたら、少し伺いたいです。</p>	<p>都市計画道路につきましては、東京都に対して中止、見直しの要望を出すということを掲げておまして、それに向けて今お答えできるのは「調整をしている」ということです。ですので、議会でも答弁しているとおおり、その方向で進めようと思っっておりますが、まだその要望書を出している状況ではございません。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
12	新庁舎等建設のコストダウンについて	<p>市庁舎、115億円のお金がかかるということで、コストダウンを色々考えられているということでございます。この時代、もっともっと物価が上がっていくんじゃないかなという心配も正直ありまして、そのあたり10の検証項目として、どんなことが挙げられているのか分かれれば、お教え願えれば幸いです。</p> <p>建物の面積を一番小さくするのが安くなるんじゃないかと思っております。最近では働き方で、在宅勤務とか、あと座席を決めないフリーアドレス化、そういうことによって少しでも職員の方の働き方を妨げない範囲で、建物を小さくできれば、建設費が少しでも抑えられるかというアイデアもあるかなと思います。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>庁舎建設につきましては、10項目のコストダウンを中心として2か月かけて検証するということが、市議会の修正案として追加されたもの、それが議決されましたので、今やっています。</p> <p>10項目については、ごめんなさい、今すぐ手元に出てこないんですが、例えば、構造ですね。全て耐震構造にするということです。地下駐車場をなくすということ。今、庁舎のほうが免震構造で、福祉会館が耐震構造と、ちょっとそこが組合せとして課題だよね、ということは言われています。免震構造にすると、それだけで結構なお金がかかりますので、それを耐震構造にすると、少しはコストダウンできるんじゃないかと。そんな話であったりとか、地下駐車場をなくすということとか。地下駐車場をなくすんだったら逆に立体駐車場を造らないといけないんですけど、それと併せてコストダウンになるかどうかとか。</p> <p>あとはカーテンウォール。私は専門的には分かりませんので具体的には言えませんが、壁面の仕様をもう少し違うふうに変えたらどうかという話だったりとか、あと、庁舎が建物として若干、段々に前に出てくる、段々な構造になっているのを真っすぐにしたらどうかとか。それはそれでまた、色々中で調整することが起きたりするんですけど、要するにコストダウンになる部分と逆に若干プラスになる部分と含めて、コストダウンになるかどうかを検討しようという、色々いくつかの項目があったりします。それが実質的には9項目ということです。</p> <p>ただ、おっしゃるように建築資材がずっと高騰しておりまして、2月あたりから一旦横ばいにはなったんですが、またちょっと上がっている状況です。これはどう考えても下がることにはならないですし、少なからず、今までがあまりにも急激に高騰してきた、その割合じゃないにしても、恐らく上がっていく傾向は変わらないだろうと思っていますので、それを含めて私としては、早く動かないと、時間が経てば経つほど高くなるということでございますので、物価高騰の想定も2パターン、3パターンぐらいを想定して、マックスだと幾らぐらいになる、今の横ばい傾向だといくらぐらいだよと、こういう物価高騰のシミュレーションもいくつか出しながら、結果的に本当に伸びた分、コストダウンになるのかということを含めて検討する必要があると認識しております。</p> <p>分かりました。検討させていただきます。</p>